

日韓両語の授受表現の比較分析

—韓国語母語話者の「～てもらう」の習得過程の実態を中心に—

The Comparison of Giving and Receiving Expressions in Japanese and Korean:
The Tendency Native Korean Speakers Show When They Learn the Japanese ‘-temorau’ Expression

キム・ウンヨン*

(lovebb96@yahoo.co.jp)

It is often said that Japanese and Korean are similar but because of that, some expressions are difficult to learn for Korean learners of the Japanese language. Especially, ‘-temorau’ in Japanese is difficult because there is no similar expression to that in Korean, whereas in both languages giving and receiving verbs are often used as assisting verbs. In this paper 1) I compare the giving and receiving expressions in both languages. 2) I show the actual results of my questionnaires which yield the fruit of this research on how Korean learners of the Japanese language use giving and receiving verbs in Japanese.

1. はじめに

- (1) 私が父に自転車を買ってもらった。
- (2) 父が私に自転車を買ってくれた。
- (3) *내가 아버지에게 자전거를 사받다.
(私が父に自転車を買ってもらった。)
- (4) 아버지가 나에게 자전거를 사주다.
(父が私に自転車を買ってくれた。)

日本語と韓国語は似ているとよく言われているが、その中で微妙に違う部分も存在する。その一つが授受表現¹⁾である。そのため授受表現は韓国人日本語学習者にとって習得するのが難しい。特に授受動詞が補助動詞として使われた場合は日本語と韓国語の違いが大きい。韓国語には「～てもらう」に当たる表現がない。例えば、同じ事柄を日本語では話し手(私)が「ガ格」を取るか「ニ格」を取るかで、例文(1)と(2)のように表現し分けることができる。しかし韓国語では例文(4)は問題なく使われるのに、例文(3)は非文になる。本稿では

* 新潟大学国際センター 平成17年度研究生

¹⁾ 本稿で授受表現とは物の移動を表す授受動詞「やる・くれる・もらう」とこの三つの動詞が「て形」に接続して「～てやる・～てくれる・～てもらう」の形で行為の授受を表す場合を指す。

この授受表現を日本語と韓国語を対照しながら、検討する。また実際に韓国人日本語学習者がどういう風に日本語の授受表現を使い分けしているかを調べるために簡単なアンケートを実施したのでその結果も適宜提示する。

2. 先行研究

日本語と韓国語の授受表現は両言語とも本動詞としての用法と、補助動詞のとしての用法の二つに分けられる。本節では先行研究を通して日本語と韓国語の授受表現の基本用法を簡単にみておくことにする。

2.1 本動詞としての用法

奥津（1983）は日本語の授受表現は「くれる・下さる・やる・あげる・さしあげる・もらう・いただく」の七つ体系で、それは以下のように三つに分類できると主張している。

1) 与え動詞・受け動詞

「くれる・下さる・やる・あげる・さしあげる」の五語は与え動詞で、「もらう・いただく」の二語は受け動詞である。「与え動詞」とは行為の主体であるガ格の「人」から、目的語である二格の「人」に物の移動が行われる動詞である。「受け動詞」とは、反対に目的語である二格の「人」から行為の主体であるガ格の「人」に物の移動が行われるのを表す動詞である。

2) 敬語・非敬語

「さしあげる・くださる・いただく」の三語は尊敬語または謙譲語の敬語表現である。また「やる・くれる・あげる・もらう」の四語は非敬語表現である。

3) 身内・よそもの

移動する物がよそものから身内へ移動するか身内からよそものへ移動するかによって分類する。「くれる・くださる・もらう・いただく」の四語はよそものから身内へ、「やる・あげる・さしあげる」の三語は身内からよそものへの移動を表している。

「さしあげる」は「あげる」の謙譲表現、「くださる」は「くれる」の尊敬表現である。また、「いただく」は「もらう」の謙譲表現であることから、待遇の差はあるものの日本語の授受表現は基本的に「やる・くれる・もらう」の三つに絞る事ができる。一方、韓国語の場合は「주다 (やる/あげる)・드리다 (さしあげる)・받다 (もらう)」の三語体系であった。しかし、韓国語の場合も同じく「드리다」は「주다」の謙譲表現に当たるのでそれを除くと、「주다・받다」の二つだけになる。ここでは韓国語の授受表現の特徴を見ておこう。

- (5) 친구가 나에게 책을 주었다. (友達が私に本をやった/あげた.)
 (6) 내가 친구에게 책을 주었다. (私が友達に本をやった/あげた.)
 (7) 친구가 나에게서 책을 받았다. (友達が僕から本をもらった.)
 (8) 내가 친구에게서 책을 받았다. (僕が友達から本をもらった.)

(5)(6)の例を見ると韓国語には「やる・あげる・くれる」の区別がない。すなわち物の移動の方向がよそのから身内へか身内からよそのへかという対立がなく、「주다」という一つの動詞ですべて表現できる。「もらう」に当たる「받다」の場合も同じである。身内へかよそのへかという区別はない。日本語の場合はよそのから身内への移動である例文(5)と身内からよそのへの移動である例文(7)はそれぞれ非文になる。韓国語は両方とも使える。

2.2 補助動詞としての用法

松下大三郎(1924: 358~363)は、<利益態は動詞の一縦的職能で其の作用が或る者の利益となることを表すものである。>とし、<動作者と利益者との彼我の関係の異動に由って、他行自利態、自行他利態、自行自利態、の三つに分たれる。>とした。他行自利態は「買ってくれる」のように他人の行為が自分に利益をもたらす場合、自行他利態は「買ってやる/あげる」のように自分の行為が他人に利益を与える場合、最後に、自行自利態は「買ってもらう」で、他人の好意的な行為を受けて、それを自分の行為として表す場合である。<>内は松下(1924)からの引用である。

この「自行自利態」についてはいろいろな立場がある。「~てもらう」の場合は実際に動作を行うのは自分ではなく、聞き手あるいは第3者である。それで、「~てもらう」を「自行自利態」と呼ぶことは無理だという意見もある。しかし、これに従うと「~てもらう」は「他行自利態」になってしまっていて、「~てくれる」の「他行自利態」との区別がなくなる。「~てもらう」を「自行自利態」にするかそれとも「他行自利態」にするかは難しい問題である。本稿では松下に従って「自行自利態」と呼ぶことにする。

補助動詞としての授受表現には「話者の視点」と「人称の制約」という概念から見て本動詞としての用法とほぼ同じである。両言語とも本動詞として使われた場合に表すのは物の授受である。それに対して、補助動詞として使われた場合はある行為の授受を表すことになる。では、日本語と韓国語の補助動詞としての使い方の違いについて簡単に見ておく。

- (9) 친구가 나에게 책을 사준다. (友達が私に本を買ってやる/あげる.)
 (10) 내가 친구에게 책을 사준다. (私が友達に本を買ってやる/あげる.)
 (11) *내가 친구에게 책을 사받다. (私が友達に本を買ってもらう.)

韓国語の授受表現にはすでに述べたように身内・よそものという概念がない。それは補助動詞として使われた場合も同じである。例文(9)(10)の「～てやる／あげる・～てくれる」が韓国語では「～어(아)주다」一つで表されている。

もう一つは、例文(11)の「買ってもらう」に対応する、例文(11)の「사받다」という表現だが、これは現代韓国語では成り立たない表現である。「買ってやる」と「買ってくれる」は「買う」の動作主と「やる・くれる」の動作主が一致している。ところが、「買ってもらう」の場合は、「買う」の動作主と「もらう」の動作主が一致していない。日本語では「買う」と「もらう」を別の動詞として扱い、この文は「私がもらった」と「友達を買った」という二文を組み合わせて作られたものと考えられる。つまり、見た目上は補助動詞になっているが、意味・機能の点では本動詞のまま使われているのである。しかし、韓国語では授受動詞は補助動詞として先行する動詞と融合して一つの動詞になる。そのため、先行する動詞と「もらう」の動作主が同じでなければならないという条件が付く。すなわちこの場合は「사다」の動作主だけが「ガ格」に来ることができる。したがって、韓国語の場合は例文(10)を例文(11)のように表現するのは不可能である。例文(11)を表現するためには例文(10)のように「ガ格」と「ニ格」を入れ変えて、「～어(아)주다 (～てくれる)」の形を借りて表現するしかない。つまり、韓国語には他人の好意的な行為を自分の行為として捉える松下の言う「自行自利態」は存在しないのである。日本語と韓国語の対応を簡単に整理すると次の通りである。

～てやる	～てくれる	～てもらう
～어(아)주다		∅

3. 「～てもらう」と「～어(아)받다」

3. 1 「～てもらう」

「～てもらう」と「～てくれる」は両方とも動作主側からの表現である。しかし、「～てもらう」は行為を受ける人がすなわち「～てもらう」の動作主が「ガ格」を取っているのに対して、「～てくれる」は行為を与える側の人、すなわち「～てくれる」の動作主が「ガ格」を取っている。そのため、「～てくれる」文の「ガ格」と「ニ格」を入れ変えれば「～てもらう」文となるが、二つの文章が同じニュアンスを持つわけではない。また時には転換不可能な場合もある。

森田良行(1981: 319～320)は「～てもらう」が成り立つ状況として、以下の四つの場合をあげて説明している。以下はその引用である。

○相手の発意、または、こちらから頼んで授受行為を行う場合、相手からこちら側へと事

物の移動を伴う。

- 相手に、ある行為を促してやらせる場合、特に事物の移動は伴わない。
- こちらが他者に対して渡し与えるべき事物を、相手の発意で、またはこちらが頼んで、相手が肩代わりして行う。事物や情報が相手から他者側へと移行する。こちらの事物ではなく、相手の事物が他者側へと移行するのである。
- こちらがなすべき行為を、何かの理由で相手が代行する。相手の発意の場合と、こちらが依頼してやらせる場合とがある。事物の移行を伴う場合と伴わぬ場合とがある。伴う場合は、こちらの事物が他者へ、他者の事物がこちらへと移動するのであって、相手は仲介の労をとるにすぎない。

「～てくれる」文は聞き手に対しての働きかけというのが問題にならない場合、すなわち働きかけがあってもなくてもかまわない場合に相手から行為を受けた場合の表現である。一方、「～てもらおう」文は自分から相手の方に何らかの働きかけがあり、その結果相手から行為を受けた場合によく使われる傾向がある。もし働きかけができない場合には「～てもらおう」は使われにくい。結局、「～てもらおう」文の場合、働きかけがあるかないかというのが問題になるのではなく、働きかけができるかできないかというのが問題になるのである。

このように潜在的な意味の違いはあるが、「～てくれる」と「～てもらおう」は他人から話者あるいは話者側への行為の移動という同じ事柄を表現している。韓国語の場合に「～てもらおう」に当たる「～어(아)받다」の表現がかけているということは2.2節で述べた通りである。この事実は、韓国人日本語学習者にとって「～てもらおう」の習得が難しいことの大きな理由の一つであり、多くの先行研究によって指摘されている。次節では、実際に「～てもらおう」に対応する韓国語の表現について見てみる。

3. 2 「～てもらおう」に対応する韓国語の表現

3. 2. 1 「～어 주다 (～してくれる)」で表現される場合。

- (12A) 私は田中さんに本を送ってもらった。
- (12B) 다나카씨가 나에게 책을 보내 주었다.
(田中さんが私に本を送ってくれた。)
- (13A) どうせ3年も待ってもらえるはずもないのだから…。(蒼氓)
- (13B) 어차피 삼년이나 기다려 줄 리는 없을 터이니까…。
(どうせ3年も待ってくれるはずもないのだから…。)

すでに述べたように日本語の場合、「～てくれる」と「～てもらおう」は基本的に行為の移動方向が同じである。ただ「ガ格」に動作主が来るか被動作主が来るかが問題である。こんな場合、韓国語では「～てくれる」に当たる「～어 주다」で表現するのが普通である。「ガ格」と「ニ格」を入れ替えて例文(12A)を例文(12B)のように表現するのである。

3. 2. 2 「~어 달라 (~してくれ)」で表現される場合。

- (14A) どなたか、お友達にでも来てもらったらどうなんですか。(千羽鶴)
 (14B) 누구든 친구분에게 부탁해서 와 달라고 하면 어떻습니까?
 (どなたか、お友達にでも頼んで来てくれと言ったらどうなんですか)。
 (15A) もしこちらでお道具をお出しになるような時は、扱わせていただきたいと言って
 ありました。(千羽鶴)
 (15B) 만일 덕에서 도구를 처분하실 때는 자기에게 맡겨 달라고 그러더군요.
 (もしこちらでお道具をお出しになるような時は、預けてくれと言ってありました。)

この場合は「~てもらう」が依頼、要求などの働きかけをする場合で、韓国語では「~어 달라」の形を取る。

3. 2. 3 「허락을 받다(얻다) (許諾を得る)」で表現される場合。

この場合も3.2.2のように「~てもらう」文が持つ意味の中で、こちらから頼んで何かをするという意味の場合である。「許可を求める」という意味を加えて、「허락을 받다(얻다)」の形を取って表現される。

- (16A) その先生の弟子にしてもらって、展覧会に出ることになった。
 (16B) 그 선생님의 제자가 되기를 허락 받고, 전람회에 나가게 되었다.
 (その先生の弟子になるのを承諾を得て、展覧会に出ることになった。)
 (17A) その人は日本人ということにして、乗せてもらうことに成功した。
 (17B) 그 사람은 일본인이라는 명목으로 승선의 허락을 얻기에 성공하였다.
 (その人は日本人ということにして、乗船の承諾を得ることに成功した。)

3. 2. 4 「~ (N) 을 받다 (~ (N) をもらう)」で表現される場合。

- (18A) 友人に頼み、彼女を紹介してもらい、以来、日曜ごと…。(するべからず)
 (18B) 친구에게 부탁해서 그녀를 소개 받고, 이후 일요일마다…。
 (友人に頼み、彼女を紹介をもらい、以来、日曜ごと…。/直訳すると文法的に不適格でる。)
 (19A) 朝になると病人の枕元に案内してもらって…。(聴耳頭巾)
 (19B) 아침이 되자 환자의 머리맡에 안내를 받고…。
 (朝になると病人の枕元に案内をもらって…。)

この例文で「받다 (もらう)」は補助動詞としてではなく、もともとなる動詞「소개 (紹介)」

「안내 (案内)」が名詞化し「(名詞) をもらう」という形を取っている。

3. 2. 5 使役の意味の「~게 하다 (～させる)」で表される場合。

日本語の「~てもらう」は「~させる」による使役表現を和らげる謙譲表現として使われている。「~てもらう」が使役の意味を表している場合には、韓国語では基本的に「주다」「받다」が使われず、「~게 하다」の使役の表現で表される。

(20A) その人には、しばらく廊下に出てもらいます。

(20B) 그 사람은 잠시 복도에 나가 있게 합니다.

(その人は、しばらく廊下に出させます。)

(21A) 私は車を止めてもらった。

(21B) 나는 차를 멈추게 했습니다. (私は車を止めさせた。)

日本語では例文(20A)(21A)のように明らかな使役行為であっても、「させる」を使わずに「~てもらう」を使って、使役表現を和らげる謙譲表現になっている。これに対して、韓国語ではこれに当たる表現がないため使役の形「~게 하다」を使って表現している。

3. 3 韓国語にも「~てもらう」に当たる表現があるという主張

3.2節では「~てもらう」に当たる韓国語の「~어(아)받다」がないという立場で「~てもらう」が果たしている意味の役割を韓国語のどのような表現が果たしているかを翻訳例などを通して見てみた。今までの研究では韓国語には「~てもらう」に当たる表現がないという主張が大半ではある。しかし、ごく少ない例²⁾ではあるが「~てもらう」に当たる「~어(아)받다」が使われている。黄順花(1992)は韓国語にも「~てもらう」に当たる表現が存在するということを検証するためにアンケートを実施した。そのアンケートでは韓国語の「~어(아)받다」の使用範囲を調査するために辞書に現れる例164個³⁾を集めている。アンケートで扱った例164個の動詞を分析した結果、使用頻度は35.58%から98.77%まで多様な分布をしている。使用頻度が50%以下だった例は26例文しかないので「~어(아)받다」という

²⁾ 「돌려 받다 (返してもらう)」「인정 받다 (認めてもらう)」などはごく普通に使われている表現で、「 돌려 받다 (送ってもらう)」などはすこしは不自然な感じもするが、たまに使われる。

³⁾ 넘겨받다, 건네받다, 대물려받다, 물려받다, 이어받다, 돌려받다, 보태받다, 앞당겨받다, 늦춰받다, 노나받다, 나누어받다, 부풀려받다, 곁들여받다, 채워받다, 붙여받다, 덧붙여받다, 올려받다, 즐겨받다, 끼워받다, 바꿔받다, 꺼내받다, 그려받다, 늘려받다, 올려받다, 즐겨받다, 끼워받다, 바꿔받다, 꺼내받다, 그려받다, 늘려받다, 챙겨받다, 할양, 인양, 양보, 양위, 협찬, 구, 배려, 대여, 선처, 존중, 기증, 대출, 보강, 경감, 개선, 수여, 용자, 직선, 천거, 창조, 혜시, 혜중, 할애, 중계, 전승, 정서, 탁송, 재검토, 재교부, 재분배, 처분, 책정, 전래, 해명, 통보, 통지, 판정, 회부, 편집, 편곡, 평가, 주문, 주선, 조회, 제시, 통역, 양지, 해량, 양도外 (漢語動詞の場合「~해 받다」は省略した。)

表現は韓国語の中でも広く使われている証拠だとしている。また年齢別分析結果は若者の使用頻度が年寄りの使用頻度より高くなっている。しかし、류보명 (1998) は黄 (1992) で取り上げられた例を見ると、大体が漢語動詞で「~해 받다 (～してもらう)」の「~해 (～して)」を省略して、「받다 (もらう)」を接続するのがもっと自然な韓国語だといえると指摘している。

3.2節で見たように基本的に韓国語には「～ってもらう」に当たる表現がないという立場で、日本語の「～ってもらう」が持つニュアンスを表現するためにいろいろな韓国語の表現を提示している。これが大体の意見ではあるが、ごく一部ではあるが使われているケースもあったし、「~어(아)받다」が普通に広く使われているという調査に基づいた結果もある。次節では、実際に韓国人日本語学習者の「～ってもらう」習得実態に関するアンケートを通して検証する。もし韓国語に「~어(아)받다」という表現が存在するとしたら韓国人日本語学習者の「～ってもらう」習得過程において何の迷いが見られず、日本人に近い使い分けが容易になされることが予想される。逆に、韓国語に「~어(아)받다」という表現が存在しないとなれば、韓国人日本語学習者の「～ってもらう」習得において迷いが生じ、「～ってもらう」と「～てくれる」の使い分けにおいても日本人とはズレが生じると予想される。

4. 調査

ここで例文について日本語母語話者、日本語学習歴3年以上の韓国人、日本語学習歴3年未満の韓国人が選んだ結果はまとめて付録に示すのでそちらを参照のこと。

4. 1 概要

今回のアンケートは日本語母語話者と韓国人日本語学習者の「～ってもらう」の使い分けを調べるために日本人35名と韓国人35名合わせて70名を対象に行った。回答者の年齢は10代から20代が大半で、性別は男子24名、女子46名である。同じ事柄を「～てくれる」文と「～ってもらう」文にして、もっとも自然だと思う文を選んでもらう形で行った。その結果、学習者が表す傾向は四つのタイプに分かれた。それぞれをタイプ1、タイプ2、タイプ3、タイプ4と呼ぶことにする。

4. 2 結果

4. 2. 1 タイプ1の特徴

タイプ1の場合は、日本語母語話者は「～ってもらう」を選ぶ傾向が強かったものである。日本語学習歴3年以上の韓国人はかなり学習が進んでいる人たちで、4つのタイプの中で一番日本語母語話者に近い傾向が見られる。一方、日本語学習歴3年未満の韓国人は母語の影響を受けて「～ってもらう」より「～てくれる」を選んだ人が多かった。この特徴が表れた例

文は以下の通りである。

タイプ1

- 1 A) わざわざ家まで来てもらって、ごめんなさい。
- 1 B) わざわざ家まで来てくれて、ごめんなさい。
- 2 A) 僕は一度だってお母様に顔を拭いてもらったことはない。
- 2 B) 僕は一度だってお母様が顔を拭いてくれたことはない。
- 3 A) 先生、先ほど診察していただいた者ですが。
- 3 B) 先生、先ほど診察して下さった者ですが。
- 4 A) ペンを貸していただけませんか。
- 4 B) ペンを貸していただきませんか。
- 5 A) 通信費、早速お送りいただきありがとうございます。
- 5 B) 通信費、早速お送りくださりありがとうございます。
- 6 A) 葉書を同封します。6月20日必着で出欠のご返事をいただければ幸いです。
- 6 B) 葉書を同封します。6月20日必着で出欠のご返事をくだされば幸いです。
- 7 A) 結構なものをお送りいただきありがとうございます。
- 7 B) 結構なものをお送りくださりありがとうございます。
- 8 A) 非番で部屋に残っていた前任海曹たちには移ってもらい、仙石と若挟だけが直立不動の二人を前にすることになった。
- 8 B) 非番で部屋に残っていた前任海曹たちが移ってくれ、仙石と若挟だけが直立不動の二人を前にすることになった。

4. 2. 2 タイプ2の特徴

タイプ2も日本語母語話者は「~てくれる」より「~てもらう」を選ぶ傾向が強いものである。一方、日本語学習歴3年以上の韓国人は母語の影響をやや受けて、「~てくれる」と「~てもらう」をおよそ半々の比率で選んだ。また日本語学習歴3年未満の韓国人はタイプ1と同じように母語の影響を受けて、「~てくれる」を使いたがっている。このタイプも学習が進むにつれて日本人の使い分けに近づいていくと思われる。この特徴が表れた例文は以下の通りである。

タイプ2

- 9 A) わざわざ私のために東京まで来ていただきすみません。
- 9 B) わざわざ私のために東京まで来てくださってすみません。

- 10A) 本を送っていただきましてありがとうございました。
 10B) 本を送ってくださいましてありがとうございました。
 11A) ええ、先生、先ほど診ていただいた子供のおじに当たる者なのですが。
 11B) ええ、先生、先ほど診てくださった子供のおじに当たる者なのですが。
 12A) わざわざ私のために寄り道してもらって、ごめんね。
 12B) わざわざ私のために寄り道してくれて、ごめんね。

4. 2. 3 タイプ3の特徴

タイプ3は日本語学習暦3年未満の韓国人はタイプ1とタイプ2と同じようにやはり母語の影響を受けて、「～てもらう」よりは「～てくれる」を選ぶ傾向が強かったものである。ここで一番面白いと思われる点は、日本語母語話者は「～てもらう」「～てくれる」のどちらでもいいという答えが半分くらいなのに、日本語学習暦3年以上の韓国人は日本人よりも「～てもらう」を選んだ人が多かったことである。これはおそらく「hyper correction (過剰矯正)」⁴⁾現象と見られる。このタイプ3は学習が進むにつれて、もっと自然な日本語に近づけようとする傾向が強く出ている。それで韓国語に「～てもらう」に当たる表現がないのを意識しすぎてしまう。その結果、日本語母語話者はどちらでもいいという半々の結果なのに学習暦3年以上の韓国人は「～てもらう」を使いたがる傾向が強いのだと思われる。この特徴が表れた例文は以下の通りである。

タイプ3

- 13A) 私は李さんにコーヒーをいれてもらいました。
 13B) 李さんは私にコーヒーをいれてくれました。
 14A) 鈴木さんに仕事を手伝ってもらいました。
 14B) 鈴木さんが仕事を手伝ってくれました。
 15A) 良子さんにこの靴下を編んでもらいました。
 15B) 良子さんがこの靴下を編んでくれました。
 16A) 日本語の堪能なお嬢さんに相手をしていただき、ゆったりとしたときを過ごしました。
 16B) 日本語の堪能なお嬢さんが相手をしてくださり、ゆったりとしたときを過ごしました。
 17A) 同僚には、基本的には両親から受け継いだ姓名で呼んでもらう。
 17B) 同僚は、基本的には両親から受け継いだ姓名で呼んでくれる。

⁴⁾ 「hyper correction」とは「標準語または社会的威信を持つ言語との差異を克服しようとして、話者が自己の自然な言語使用を過度に矯正した結果、当該発音や文法を過度に用いてしまう現象」を言う。

4. 2. 4 タイプ4の特徴

このタイプ4は韓国語、すなわち母語の影響が一番強かったものである。日本語母語話者は「～てもらう」と「～てくれる」をほぼ半々の比率で選んでいるのに、日本語学習暦3年以上の韓国人も3年未満の韓国人もすべて「～てくれる」を多く選んだ。この特徴が表れた例文は以下の通りである。

タイプ4

18A) 先生、私のために時間を取っていただいてすみません。
18B) 先生、私のために時間を取ってくださってすみません。
19A) 雨が降れば娘に迎えに来てもらいます。
19B) 雨が降れば娘が迎えに来てくれます。

4. 3 分析

アンケートの結果、日本語学習暦3年未満の韓国人は予想通りすべての例文で「～てくれる」を選ぶ傾向が強かった。しかし、学習暦3年以上でかなり学習が進んでいると思われる人たちは例文のタイプによって結果が違っていた。以下に結果をまとめたものを表で示す。

	日本語母語話者	学習暦3年以上の韓国人	学習暦3年未満の韓国人
TYPE 1	「～てもらう」	「～てもらう」	「～てくれる」
TYPE 2	「～てもらう」	「～てもらう」 「～てくれる」	「～てくれる」
TYPE 3	「～てもらう」 「～てくれる」	「～てもらう」	「～てくれる」
TYPE 4	「～てもらう」 「～てくれる」	「～てくれる」	「～てくれる」

この結果を見ると、このタイプ1と2の例文の場合は日本語学習暦3年以上の韓国人は日本人の使い分けにかなり近づいているようである。つまり、このタイプ1と2の例文は韓国人学習者にとって学習が進みやすいタイプであると見られる。しかし、タイプ3の例文は「hyper correction」という現象が起こったタイプで、正しい日本語を意識しすぎて日本人よりもよけいに「～てもらう」を使いたがる傾向が見られた。このタイプ3の例文は学習が進みにくい場合と見られる。

学習が進みやすいと見られるタイプ1,2と学習が進みにくいと見られるタイプ3の例文の特徴の違いについて見ると、タイプ1と2の例文は相手との行為の授受を表している対話型である。一方、タイプ3の例文は相手がなくても大丈夫なある事実を説明しているだけの描写型といえる。描写型であるタイプ3の例文の場合は他の例文のタイプに比べて日本人の使い分けとは違っている。この場合は韓国人日本語学習者にとって学習が進みにくいようである。どうして対話型文は学習が進みやすく、描写型文は学習が進みにくいのかというその理由の考察は今後の課題として残ったままである。タイプ4の例文については、4.2.4で述べたように学習歴3年以上の韓国人も3年未満の韓国人も母語の影響を強く受け、「～てくれる」を多く選んだものである。しかし、学習が進みにくいタイプの例文であるとはいえ、今回の調査ではあまりにも少ない二つの例文にだけこういう現象が起こったので、これだけではこのタイプの例文の特徴について説明できない。今後の課題としてもっと同様の例を集めたい。もう一つは、今回の調査は例文が出やすい状況を特に設定せずに行ったので、人によって何を基準に形式を選んだのかが分からない。今度はその状況まで含めて考えていくつもりである。

5. おわりに

これまで日本語と韓国語の授受表現を調査結果を通じて検討してみた。韓国語には「～てもらう」に当たる「～어(아)받다」という表現がないというのが今までの研究の大半の主張である。一方、韓国語にも「～てもらう」に当たる表現が存在するという主張もあった。もし韓国語に「～てもらう」に当たる表現があるという主張が事実であれば、実際の調査で「～てくれる」と「～てもらう」の使い分けにおいて迷いが生じないと予想した。しかし、調査の結果、学習歴3年未満の韓国人は日本語母語話者の使い分けとはかなり違っている。また、学習歴3年以上の韓国人は四つのタイプに分かれたが、この場合も日本語母語話者とはズレが生じている。この結果は、韓国語には「～てもらう」に当たる「～어(아)받다」という表現がないという主張の根拠になりえると思われる。今後は4.3の分析で述べたように今回の調査で足りなかった部分を補って、まだ残ったままである課題を中心に考えていきたい。

【参考文献】

- 奥津敬一郎 (1983) 「授受表現の対照研究－日・朝・中・英の比較」『日本語学』2-4 明治書院
- 小松寿雄 (1964) 「～してやる・～してもらう・～してくれる」『国語文法講座3 ゆれている文法』明治書院
- 林八龍 (1980) 「日本語・韓国語の授受表現の対照研究」『日本語教育』40
- 松下大三郎 (1924) 『標準日本文法』紀元社
- 森田良行 (1988) 『日本語の類似表現』創拓社

日韓両語の授受表現の比較分析

- 김태영 (1995) 「韓・日両語ヤリモライ対照研究」慶南大学校 修士論文
 류보명 (1998) 「授受表現의 韓日 対照研究」『日本学報』6輯 韓国日本学会
 李考貞 (2005) 「授受動詞에 관한 一考察-日本드라마 속의 場面 分析」中央大学校教育大学
 院 修士論文
 許仁順 (1985) 「授受表現の問題点をめぐって」『日本学報』15輯 韓国日本学会
 許禎 (1996) 「日本語の授受表現の韓国語訳に関する一考察」誠心女子大学校 修士論文
 黄順花 (1992) 「日本語の補助動詞「～してもらう」에 관한 韓国語와의 対照研究(1)」『日本
 学報』33輯 韓国日本学会

【出典一覧】

- 遠藤周『するべからず』多楽園
 川端康成『千羽鶴』講談社
 柳田国男『日本の昔話』中「蒼氓」「聴耳頭巾」角川書店

【付録】

例 文	J	K3↑	K3↓
当銀行の普通貯金をご利用いただき、ありがとうございます。 当銀行の普通貯金をご利用くださり、ありがとうございます。	14 2	15 6	11 2
わざわざ家まで来てもらって、ごめんなさい。 わざわざ家まで来てくれて、ごめんなさい。	26 7	20 6	6 6
先生に何気なく言っていた言葉が非常に役立っている。 先生が何気なく言ってくださった言葉が非常に役立っている。	13 25	12 17	8 5
佐藤さんの奥さんに、親切にしてくださいでもいいのって、聞くんですの。(母の初恋) 佐藤さんの奥さんが、親切にしてくださいでもいいのって、聞くんですの。	9 12	9 3	5 7
わざわざ私のために東京まで来ていただいてすみません。 わざわざ私のために東京まできてくださってすみません。	29 10	14 10	5 7
同僚には、基本的には両親から受け継いだ姓名で呼んでもらう。(亡国のイージス) 同僚は、基本的には両親から受け継いだ姓名で呼んでくれる。	26 26	20 9	9 6
私は李さんにコーヒーをいれてもらいました。 李さんは私にコーヒーをいれてくれました。	33 34	21 15	10 8
先生、私のために時間を取っていただいてすみません。 先生、私のために時間を取ってくださってすみません。	19 16	9 16	6 7
本を送っていただきましてありがとうございます。 本を送ってくださいますてありがとうございます。	21 19	14 14	4 9
先生、昨日訪問していただいた子供の母に当たるものです。 先生、昨日訪問してくださった子供の母に当たるものです。	19 8	13 10	8 5
俺が高く買ってもらっている人。 俺を高く買ってくれている人。	3 31	6 17	7 7

私が「日本語教授法」を指導してもらったのは、ここに登場する留学生たちではなかったかとさえ思えてくる。(留)	9	9	8
私に「日本語教授法」を指導してくれたのは、ここに登場する留学生たちではなかったかとさえ思えてくる	27	15	7
鈴木さんに仕事を手伝ってもらいました。	36	22	11
鈴木さんが仕事を手伝ってくれました。	32	14	6
良子さんにこの靴下を編んでもらいました。	36	21	10
良子さんがこの靴下を編んでくれました。	34	15	7
僕は一度だってお母様に顔を拭いてもらったことはない。(熱帯樹)	37	21	8
僕は一度だってお母様が顔を拭いてくれたことはない。	4	5	6
そんなに喜んでもらってるなら、送ったものとして本当にうれしいです。	11	8	7
そんなに喜んでくれてるなら、送ったものとして本当にうれしいです。	27	17	6
彼があなたにいろいろ面倒見ていただいているみたいであります。	17	8	3
あなたがいろいろ彼の面倒見てくださっているみたいであります。	26	18	10
先生、先ほど診察していただいた者ですが。	36	22	7
先生、先ほど診察して下さった者ですが。	1	1	5
せかせさるようで心苦しいのですが、ご用立てした5万円、そろそろお返しいただけますか。	29	20	9
せかせさるようで心苦しいのですが、ご用立てした5万円、そろそろお返しくださいますか。	10	5	4
わざわざ私のために寄り道してもらって、ごめんね。	23	10	6
わざわざ私のために寄り道してくれて、ごめんね。	15	14	6
日本語の堪能なお嬢さんに相手をしていただき、ゆったりとしたときを過ごしました。	26	19	3
日本語の堪能なお嬢さんが相手をして下さり、ゆったりとしたときを過ごしました。	25	9	11
ペンを貸していただけませんか。	34	20	6
ペンを貸して下さいませんか。	19	11	8
そんなに大切にしてもらってるなら、描いた者としては喜ぶべきなんだろうけど。	18	10	7
そんなに大切にしてくれてるなら、描いた者としては喜ぶべきなんだろうけど。	25	14	7
ええ、先生、先ほど診ていただいた子供のおじに当たる者なんです。	33	14	6
ええ、先生、先ほど診て下さった子供のおじに当たる者なんです。	7	10	6
通信費、早速お送りいただきありがとうございます。	28	18	3
通信費、早速お送りくださりありがとうございます。	17	9	9
お考えを聞かせていただけたらと思います。	34	19	10
お考えを聞かせて下さったらと思います。	3	5	2
葉書を同封します。6月20日必着で出欠のご返事をいただければ幸いです。	35	17	4
葉書を同封します。6月20日必着で出欠のご返事をくだされば幸いです。	5	9	10
雨が降れば娘に迎えに来てもらいます。(雪国 (上))	29	14	6
雨が降れば娘が迎えに来てくれます。	34	19	8
非番で部屋に残っていた先任海曹たちには移ってもらい、仙石と若狭だけが直立不動の二人を前にすることになった。(亡国のイージス)	31	16	6
非番で部屋に残っていた先任海曹たちが移ってくれ、仙石と若狭だけが直立不動の二人を前にすることになった。	7	9	8
あなたはお父さんに自転車を買っていただきました。	12	8	4
お父さんはあなたに自転車を買っていただきました。	30	17	10

日韓両語の授受表現の比較分析

結構なものをお送りいただきありがとうございます。	27	19	3
結構なものをお送りくださりありがとうございます。	16	9	9
私のためにプレゼントまで買っていただきすみません。	22	15	6
私のためにプレゼントまで買ってくださってすみません。	16	11	6

* 「J」は日本語母語話者、「K3↑」は日本語学習暦3年以上の韓国人、「K3↓」は日本語学習暦3年未満の韓国人を指す。

【参考資料】

- 川端康成 (1994) 『雪国 (上)』 多楽園
 川端康成 (1995) 『母の初恋』 多楽園
 佐々木端枝 (1989) 『留学生と見た日本語』 新潮社 (‘留’ と表示)
 福井晴敏 (2002) 『亡国のイージス(上)』 講談社
 三島由紀夫 (1995) 『熱帯樹』 多楽園